

板倉てつお 批判より具体策 まちの未来を共に創る

鉄道公園止めた実績

2期8年で現職最多の31回の一般質問を行うなど、誰よりも議論する議員として活動しました。また、一般質問の際は、単なる質問ではなく、具体的な提言を行ってきました。

その成果として、パブリックコメント制度や、小中学生1人1台のパソコン整備、高千穂高校魅力向上の事業化、町公式LINE、パートナーシップ宣誓制度などが実現しました。また高千穂鉄橋について文化財としての保存を提言し、公園化事業の保留につながりました。

今後も「批判より具体策」をモットーに、まちの未来を皆様と共に創ります。

2期8年間の主な実績

●高千穂高校魅力向上

高千穂高校がより魅力ある高校となるべく、高千穂町が公設塾設置や地域課題解決型カリキュラム作成、寮の整備に取り組むよう訴えました。



令和3年度から、高千穂高校魅力化推進事業として予算がつけられました。

●高千穂鉄道公園化保留

36年間に54億円以上の支出となる計画に反対し、令和5年3月の議会で、予算案から関連予算を削除する修正案を議会に提出しました。



私が提出した修正案が議会で可決しました。また、令和6年3月には、事業の保留が発表されました。

●パートナーシップ宣誓制度

だれもが自分らしく暮らせるまちの実現に向け、性的少数者（LGBTなど）が抱える生きづらさの解消につながるパートナーシップ宣誓制度の必要性を訴えました。



令和6年度からパートナーシップ宣誓制度の運用が開始されました。

板倉てつおがめざすもの

- ・20年後、30年後を見据え、若者の意見と政治をつなぎ、積極的な政治参画を促進します。
- ・SNSやブログなどで発信をし、タイムリーにまちの課題を皆様と共有し、一緒に考えます。
- ・無所属で後援会也没有ありません。しがらみがなく、公平、公正な政治活動が可能です。

プロフィール

1978年8月4日生まれ。大阪府堺市出身。島根大学卒業。2015年に地域おこし協力隊として高千穂町に移住。2017年に高千穂町議会議員選挙で当選。妻と子の三人家族。

板倉哲男 事務所

〒882-1101 高千穂町大字三田井802-6 コワキングスP-452内
※選挙事務所ではありません。
TEL:090-6057-3272

無党派 無所属

板倉
いたくら
てつお



鉄道公園止めた実績
まちの未来を共に創る

板倉てつお公式ホームページ <https://itakuratetsuo.com/>

頒布責任者:板倉哲男 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井1031番地
印刷者:有限会社川辺印刷 川辺 忠己 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井721-4

板倉てつおの 4つの提案

こうなったらいいと思いませんか？

① 協働と民主主義の発展(住民と共に創るまち)

人口減少が進むなか、住民と議会・行政が対等なパートナーとして協働する仕組みが必要です。議会報告会では、政策づくりに住民の声を生かす意見交換(ワークショップ)を重視しています。さらに、議会の可視化や子ども・若者の参加促進に取り組みたいと考えています。

具体的な提案

- ・住民参加型政策立案の推進
- ・子ども議会など、多世代の意見表明の場づくり
- ・録画配信など議会活動の可視化推進

これまでの実績

- ・議会報告会におけるワークショップの導入
- ・パブリックコメント制度化 ・議会ライブ中継実施
- ・児童や乳幼児も傍聴可能にする規則改正



② 持続可能な地域経営(行政と経済の再設計)

限られた財源と人材の中で、行政運営の見直しが必要です。DXやAIの活用による業務効率化や、仕事の選択と集中を進めるべきと考えています。また、地域経済では、町内での人や金の循環、担い手の育成、移住促進などが不可欠です。行政と民間がより連携する持続可能な地域経営をめざします。

具体的な提案

- ・DXによる行政手続きの簡素化と効率化
- ・地元農商工業の事業承継支援
- ・地域おこし協力隊や外部人材、社会人などの多様な人材の活用
- ・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の強化
- ・移住者向け住宅整備支援の充実
- ・脱炭素やごみ減量など環境にやさしいまちづくり

これまでの実績

- ・町公式LINE開設
- ・タブレット議会の実現
- ・町地球温暖化対策実行計画策定

③ 子ども・若者が希望を持てるまちづくり

地域の未来を支える子どもや若者が、安心して学び、子どもを育てる環境づくりが大切と考えます。結婚・出産・子育て期の支援充実を図り、地域全体で子育てを応援する社会を目指します。また、高千穂高校のさらなる魅力向上に取り組むとともに、小中高の連携を進める必要があると考えています。

具体的な提案

- ・結婚新生活支援事業の町独自の加算
- ・0歳～2歳児の保育無償化
- ・地域を巻き込んだキャリア教育の推進
- ・教育支援センターの充実(ICT学習の推進)
- ・住民相互の子育て支援(ファミリーサポート)に対する町の支援

これまでの実績

- ・小中学生1人1台パソコン整備
- ・高千穂高校魅力向上
- ・特別栽培米の学校給食導入
- ・子育て支援金拡充

④ 誰も取り残さないまち 全ての人が尊重されるまち

すべての人が自分らしく暮らせるまちを目指しています。高齢者など車を運転しない人でも暮らしていけるよう、より利便性の高い地域交通が求められます。また、今後想定される南海トラフなどの災害では、高齢者、障がい者、ペットなど、弱い立場の存在を含め、誰も取り残さない視点が必要です。若者、高齢者、男性、女性、LGBTや外国人など、多様な人が尊重され安心して暮らせるまちを目指します。

具体的な提案

- ・予約型乗り合いタクシーの導入
- ・公民館単位の分散備蓄の体制整備
- ・避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成
- ・ジェンダーギャップの解消

これまでの実績

- ・パートナーシップ宣誓制度の導入
- ・災害時の物資確保について民間企業との協定締結

